

資 (FDI) に着目し、技術のスピルオーバー効果を測定した。

(3)「情報の学習に対する教師意識の分析と経験度との関連性」

成瀬喜則 (富山商船高等専門学校), 山西潤一 (富山大学教育学部)

概要: 情報教育および情報倫理教育の重要性が指摘されているが、指導する教師によって学習内容に対する認識が異なっている。今後の最適な教員研修のあり方を考えるために、高等学校教員を対象にして AHP を使ったアンケート調査を行った。さらに、教員をいくつかのグループに分類して、学習に対する考え方の違いを調べた。

● 待ち行列 ●

・第 183 回

日時: 2月19日(土) 14:00~16:30

出席者: 22名

場所: 東京工業大学 西8号館 (W) 809号室

テーマと講師: (*は講演者)

(1)“On the busy period asymptotics in GI/G/1

queues”

* Tomasz Rolski (University of Wroclaw),
Zbigniew Palmowski (University of Wroclaw,
Utrecht University)

概要: 状態空間を部分集合 A に制限した条件付きマルコフ過程を考え、そこから得られる理論的性質を用いて、 $M/G/1$ 待ち行列における窓口稼働期間分布の(対数的でない)厳密な漸近的特性が求められた。また、 $GI/G/1$ 待ち行列や $M/M/1$ 型直列待ち行列への拡張も示された。

(2)「再呼モデルのトラヒック解析について」

* 高橋彰良, 高橋敬隆 (早大), 秋永和計, 金田茂 (NTT ドコモ)

概要: 携帯電話サービスを念頭にして、新規の呼に再呼が加わるモデルを対象して扱った。既存研究で多用される、再呼間隔が指数時間であるという仮定について、これを变化させた時に呼のブロック率がどのように変わるかが、シミュレーションを用いた解析によって示された。モデルの仮定や、パラメータ設定等について、活発な議論がなされた。

会 合 記 録

2月7日(月)

表彰委員会

7名
